

2021年度 第2四半期 決算説明資料

2021年11月5日

リンナイ株式会社

Rinnai

1. 2021年度 第2四半期 実績

2. 経営の方向性

2021年度 第2四半期 連結決算要点

売上高 : 1797.2億円 (前期比: +20.7% 計画比: +6.3%)

中国やアメリカを中心に海外が大きく伸長。日本も増収となり、過去最高を更新

過去最高

営業利益 : 201.0億円 (前期比: +55.2% 計画比: +27.3%)

材料価格や物流費の高騰が続く中、増収効果と原価低減努力により過去最高益

過去最高

経常利益 : 216.8億円 (前期比: +55.8% 計画比: +33.1%)

営業増益に伴い増益

過去最高

親会社株主に帰属する

四半期純利益 : 132.4億円 (前期比: +32.1% 計画比: +33.8%)

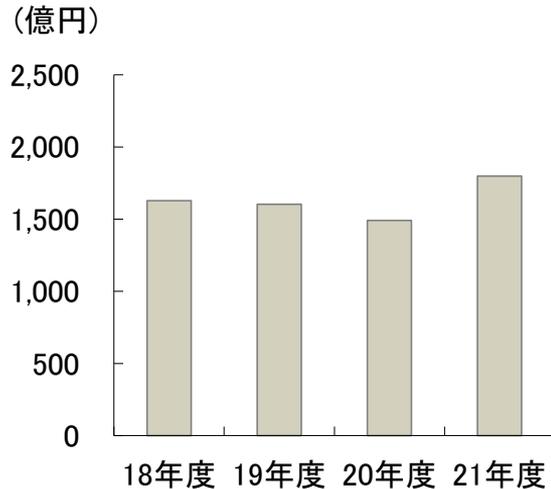
経常増益に伴い増益 ※ 前年同期は投資有価証券売却益 14.4億円計上

過去最高

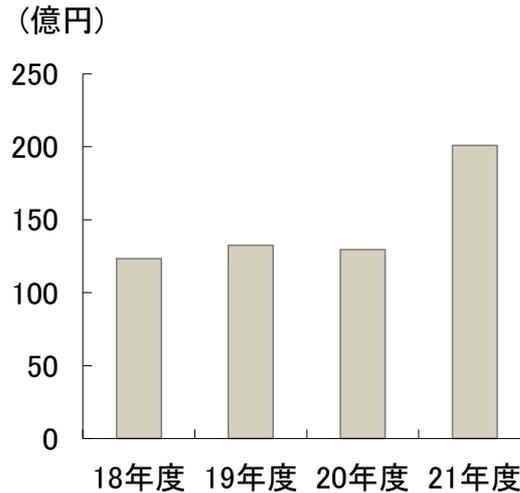
- ・想定外の影響が数多く発生する中、売上・利益とも計画を大幅に上回って進捗
- ・第3四半期以降もリスク要因の継続が見込まれ、厳しい状況が続くと想定

連結業績推移(第2四半期)

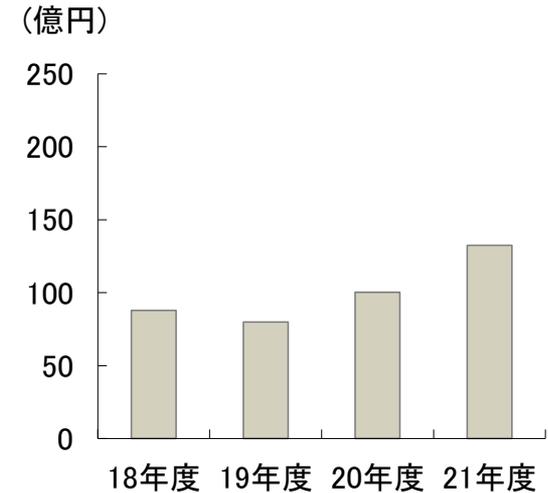
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する 四半期純利益



- ・売上高は海外の大幅増収に加え、国内も順調に推移し、3期振りに過去最高を更新
- ・営業利益は原価低減や増収により、2期振りの増益。過去最高益を更新

2021年度 第2四半期 機器別売上高の内訳

[単位:億円]

機器別	2020年度		2021年度		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
給湯	821.6	55.2%	1032.0	57.4%	+210.3	+25.6%
厨房	402.3	27.0%	430.0	23.9%	+27.6	+6.9%
空調	82.4	5.5%	103.4	5.8%	+21.0	+25.5%
業用	35.6	2.4%	43.5	2.4%	+7.8	+21.9%
その他	147.3	9.9%	188.1	10.5%	+40.8	+27.7%
合計	1489.4	100.0%	1797.2	100.0%	+307.7	+20.7%

2021年度 第2四半期 連結損益実績内訳

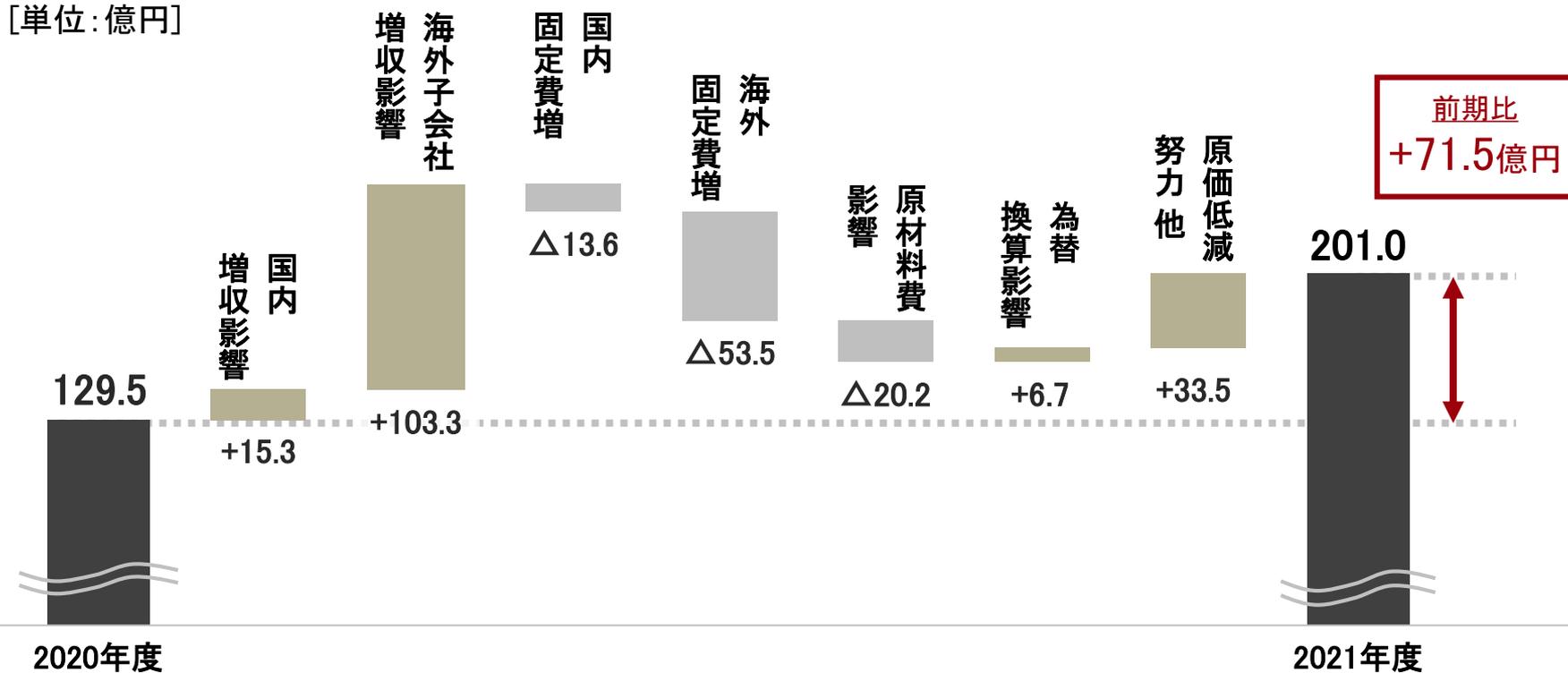
[単位: 億円]	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
連結	1797.2	+20.7%	201.0	+55.2%	11.2%	+2.5pt



	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
リンナイ	1027.4	+10.5%	86.5	+15.3%	8.4%	+0.3pt
国内関連	470.1	+3.3%	13.7	+22.9%	2.9%	+0.5pt
海外関連	1003.6	+37.2%	108.4	+180.5%	10.8%	+5.5pt
合計	2501.2	+18.2%	208.7	+67.1%	8.3%	+2.4pt

2021年度 第2四半期 連結營業利益分析

[単位: 億円]



リンナイ単体 2021年度 第2四半期 実績

- 前年6月以降、需要が好調だったこともあり増収幅は縮小も過去最高
- 原材料価格高騰を原価低減、増収効果で吸収し上期最高益を達成
- 一部商品で部品調達が逼迫し、納期遅延が発生



ビルトインコンロ



ハイブリッド給湯器



ガス衣類乾燥機



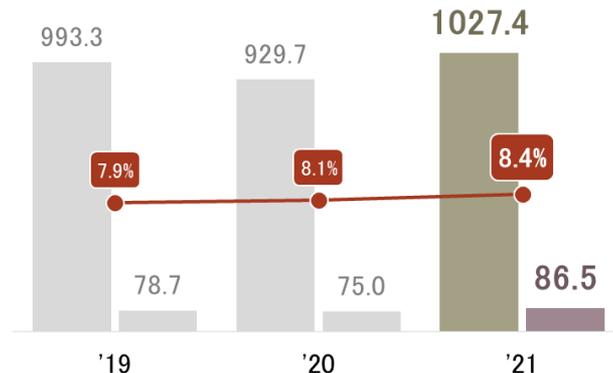
食器洗い乾燥機

(億円)

	2020年度	2021年度	前期比増減率
売上高	929.7	1027.4	+10.5%
営業利益	75.0	86.5	+15.3%
営業利益率	8.1%	8.4%	+0.3pt

リンナイ単体 第2四半期 実績

■:売上高 ■:営業利益 ●:営業利益率 (単位:億円)



(販売台数:国内)

	前期比増減率
給湯暖房機	+3.1%
ふろ給湯器	+4.1%
ビルトインコンロ	△1.0%
ガス衣類乾燥機	+12.9%

リンナイ単体 トピック

ハイブリッド給湯・暖房システム「ECO ONE」プロモーション強化



暮らしの快適性を維持しながら、CO₂排出量を大幅に削減する
ハイブリッド給湯・暖房システム「ECO ONE」のプロモーションを一新
カーボンニュートラルの動きが加速する中、生活の質の向上と
地球環境への貢献を同時に実現するECO ONEの魅力を訴求



新CMの作成

「ECO ONE」で始める「3つの温活」

暮らしの
「温」を考える

地球の
「温」を考える

お財布の
「温」を考える

キーメッセージ

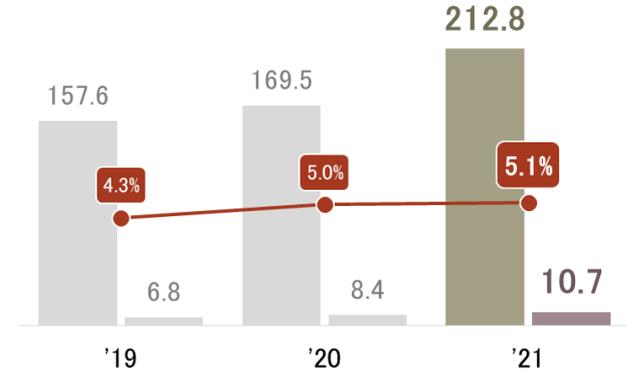
リンナイアメリカ 2021年度 第2四半期 実績

- 住宅環境改善ニーズによるタンクレス給湯器への需要拡大が継続
- 現地への供給体制の強化を図るも、物流の混乱は解消に至らず
- タンクレス給湯器の販売増加に伴い、営業増益に転換



リンナイアメリカ 第2四半期 実績

■:売上高 ■:営業利益 ●:営業利益率 (単位:億円)



(億円)	2020年度	2021年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	169.5	212.8	+25.5%	+26.3%
営業利益	8.4	10.7	+28.0%	+28.8%
営業利益率	5.0%	5.1%	+0.1pt	

(販売台数)	前期比増減率
タンクレス給湯器	+22.1%
内)高効率タイプ	+26.0%

リンナイアメリカトピック

メキシコ 業務用給湯システム トップメーカー「Industrias Mass」社を買収

中期経営計画「New ERA 2025」で掲げた事業領域の拡大に向け、

中南米地域でのブランド認知向上と中長期での事業拡大を狙う

アメリカ大陸におけるネットワーク



業務用給湯器

名称	Industrias Mass, S.A. de C.V. (インダストリアスマス株式会社)
所在地	メキシコ合衆国 メヒコ州 トラルネパントラ・デ・バス市
事業	業務用給湯器、水処理システム、業務用タンクの製造・販売
設立	1964年



上海林内 2021年度 第2四半期 実績

- 主力の給湯器、ボイラー販売の好調が続く
- 大型ECイベント「618セール」も給湯器を中心に販売伸長

- 1-6月インターネット販売 金額前期比 +43.4%、構成比率 27.6% (前期比 Δ1.3pt)



給湯器



ビルトインコンロ



レンジフード



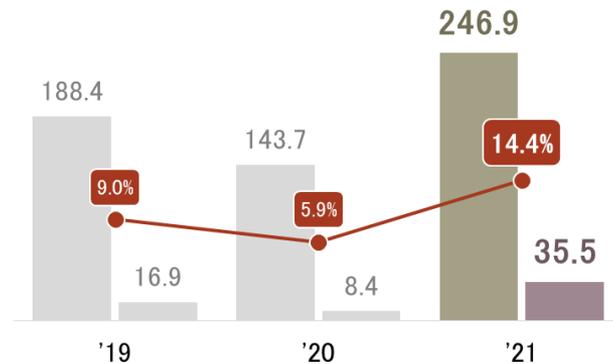
ボイラー

(億円)

	2020年度	2021年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	143.7	246.9	+71.8%	+58.8%
営業利益	8.4	35.5	+320.4%	+288.5%
営業利益率	5.9%	14.4%	+8.5pt	

上海林内 第2四半期 実績

■:売上高 ■:営業利益 ●:営業利益率 (単位:億円)



(販売台数)

	前期比増減率
給湯器	+58.3%
ビルトインコンロ	+5.5%
レンジフード	+8.4%
ボイラー	+110.8%

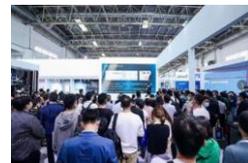
上海林内トピック

中国でマイクロバブル給湯器を発売

美容や健康、安全・安心への関心が高まる中国で
マイクロバブル機能付き給湯器を発売（2021年8月～）
北京ISH展示会にて新製品発表会を実施



北京ISH展示会（2021年5月 開催）



マイクロバブル給湯器

大型ECイベント「618セール」で販売好調

給湯器を中心に販売好調（給湯器売上 金額前期比+29%）
中高級帯・大容量タイプの販売が進み、販売単価も向上



IoT対応 給湯器



即湯機能付 給湯器



センサー付 コンロ

リンナイオーストラリア 2021年度 第2四半期 実績

- ・ 在宅勤務の増加や寒波の影響を受け、暖房機器販売が好調
- ・ 生産性改善や固定費合理化に加え、為替影響もあり増益



タンクレス給湯器



電気タンク式給湯器

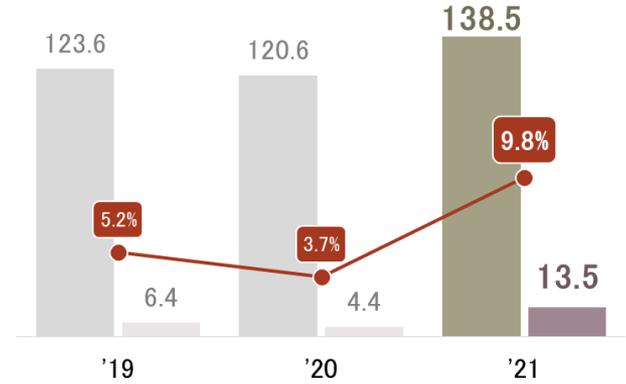


ダクト式冷暖房システム

(億円)	2020年度	2021年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	120.6	138.5	+14.8%	△0.3%
営業利益	4.4	13.5	+204.9%	+164.8%
営業利益率	3.7%	9.8%	+6.1pt	

リンナイオーストラリア 第2四半期 実績

■:売上高 ■:営業利益 ●:営業利益率 (単位:億円)



(販売台数)

前期比増減率

開放型暖房機	+20.6%
業務用空調機	+10.7%
ダクト式冷暖房システム	+0.3%

リンナイ코리아 2021年度 第2四半期 実績

- 親環境ボイラー販売が補助金効果もあり、引き続き好調

- 補助金は第2四半期時点で予算枠消化により、終了

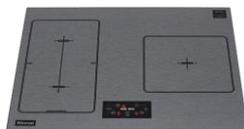
- 経営改善活動(原価低減、新製品投入 等)により、収益性が向上



親環境ボイラー

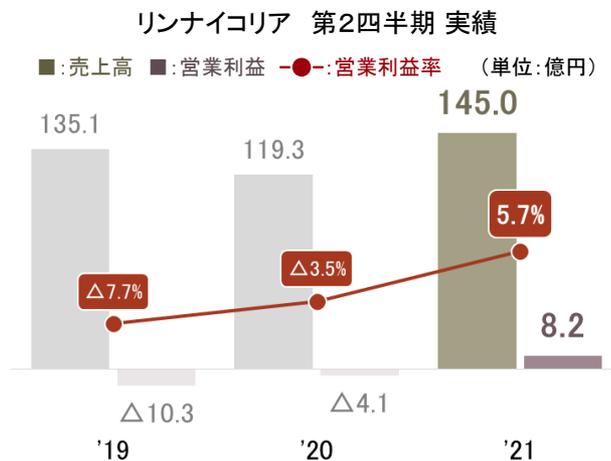


ガスコンロ



電気コンロ

(億円)	2020年度	2021年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	119.3	145.0	+21.6%	+13.5%
営業利益	△4.1	8.2	-	-
営業利益率	△3.5%	5.7%	-	-



(販売台数)	前期比増減率
ボイラー	+9.0%
ガスコンロ	△5.1%
電気コンロ	△18.8%

リンナイインドネシア 2021年度 第2四半期 実績

- 堅調な需要に加え、前年同期は経済活動規制があったことから
各品目とも大幅に伸長
- 特にビルトインコンロやレンジフードが伸び、増益幅も拡大



テーブルコンロ

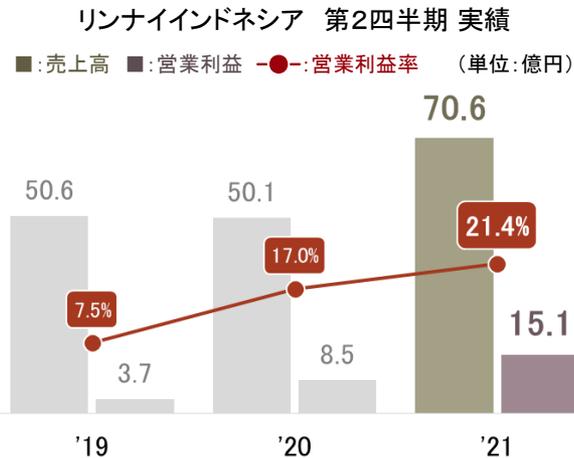


ビルトインコンロ



レンジフード

(億円)	2020年度	2021年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	50.1	70.6	+41.0%	+38.9%
営業利益	8.5	15.1	+77.6%	+75.0%
営業利益率	17.0%	21.4%	+4.4pt	



(販売台数)	前期比増減率
テーブルコンロ	+25.3%
ビルトインコンロ	+90.3%
レンジフード	+132.4%

今後の見通しとリスク要因

		第2四半期 実績	今後の見通し	今後も継続するリスク要因
日本		前年から続く堅調な需要の中、 増収幅は第1四半期に比べ縮小 第2四半期以降、部品調達が逼迫	引き続き厳しい状況が想定される中、 原価低減と高付加価値商品の拡販で 材料高による影響の吸収を図る	部品調達の逼迫・ 原材料価格の高騰 行動制限解除による 支出構造の変化
海外	アメリカ	タンクレス給湯器の需要が急拡大 国際物流の混乱で供給に遅延	需要の急拡大は継続見込み 供給最優先で売上を伸長	国際物流の停滞 コンテナ不足
	中国	インターネット、小売販売とも好調 前年の落ち込みもあり大幅増収	リスク要因が多く、見極めが難しい中、 好調な需要は続く見通し	信用不安の拡大・連鎖 電力制限
	その他	オーストラリア: 暖房機器販売が伸長 韓国: ボイラー好調、経営改善進む インドネシア: 高付加価値帯が堅調	オーストラリア: 生産性改善・合理化推進 韓国: 前年比弱含むも、経営改善の徹底 インドネシア: 販売好調も材料高懸念	新型コロナウイルス感染 再拡大による活動制限 等

多くのリスク要因が見込まれ、今後注視が必要。現時点で通期業績予想は据置き

1. 2021年度 第2四半期 実績

2. 経営の方向性

中期経営計画と長期企業方針

2021～2025 中期経営計画 「New ERA 2025」

3つの戦略ストーリー

社会課題解決への貢献

- ・ 生活の質の向上
- ・ 地球環境問題への対応

事業規模の拡大

- ・ 地域領域の拡大
- ・ 事業領域の拡大

企業体質の変革

- ・ 消費者志向への変革
- ・ 無形資産への重点投資
- ・ 収益力の強化

主な進捗・実績

- ・ ビルトインコンロ「Lisse」モデルチェンジ
(生活の質の向上)
- ・ メキシコ「Industrias Mass」社 買収
(地域領域の拡大)
- ・ 自社株買いの実行
(資本政策の実行)

世界のカーボンニュートラルへの取り組み

2020年 10月26日 所信表明

「2050年 カーボンニュートラル宣言」

日本

2021年 10月22日 閣議決定

「エネルギー基本計画」

「地球温暖化対策計画」

-2030年 CO2削減目標(2013年比) 全体 46%削減・家庭用 66%削減

リンナイグループが関連する国での温室効果ガス排出量 目標

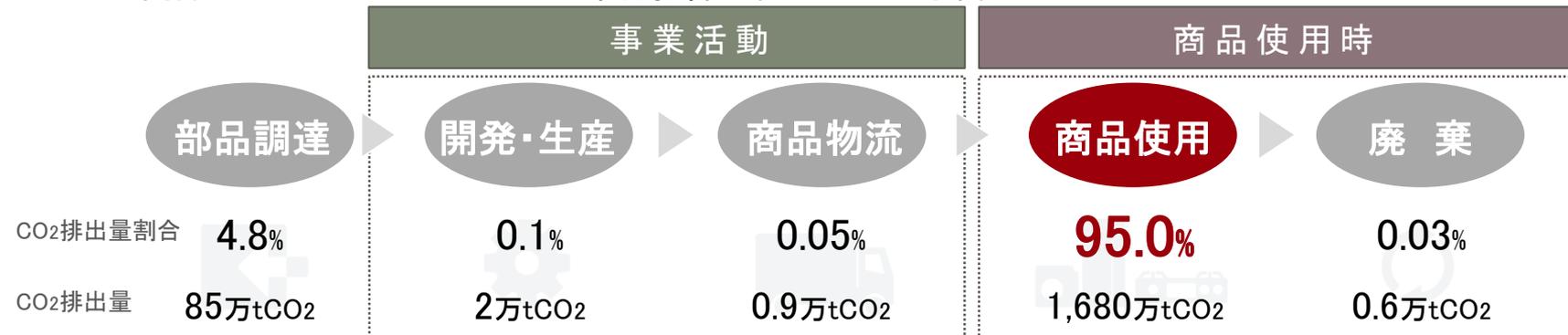
海外

- アメリカ 2030年:50~52%削減(2005年比) → 2050年:ゼロ
- オーストラリア 2030年:26~28%削減(2005年比) → 2050年:ゼロ
- イギリス 2030年:68%削減(1990年比) → 2050年:ゼロ
- 中国 2030年:65%削減(2005年比) → 2060年:ゼロ

2050年の脱炭素社会実現に向けた長期企業方針を策定

商品のライフサイクルにおける環境影響とCO₂排出量目標

■ リンナイ商品のライフサイクルにおける環境影響（国内 2020年度）



■ CO₂排出量 目標

※海外商品に関しては概算になります

	国内	グローバル		国内	グローバル
2020年	3万tCO ₂	10万tCO ₂	2020年	1,680万tCO ₂	4,500万tCO ₂
2030年	1.5万tCO ₂	5万tCO ₂	2030年	1,260万tCO ₂	—
2050年	ゼロ		2050年	ゼロ	

カーボンニュートラルに向けた投資

2021～2025年度のキャッシュ・フロー シナリオ



カーボンニュートラルに向けた主な投資

(開発) 300億円～

イノベーションセンター拡張
水素燃焼機器開発への投資
ヒートポンプ機器開発への投資

(製造) 150億円～

再エネ設備や非化石燃料設備への切り換え
グリーン電力への切り替え

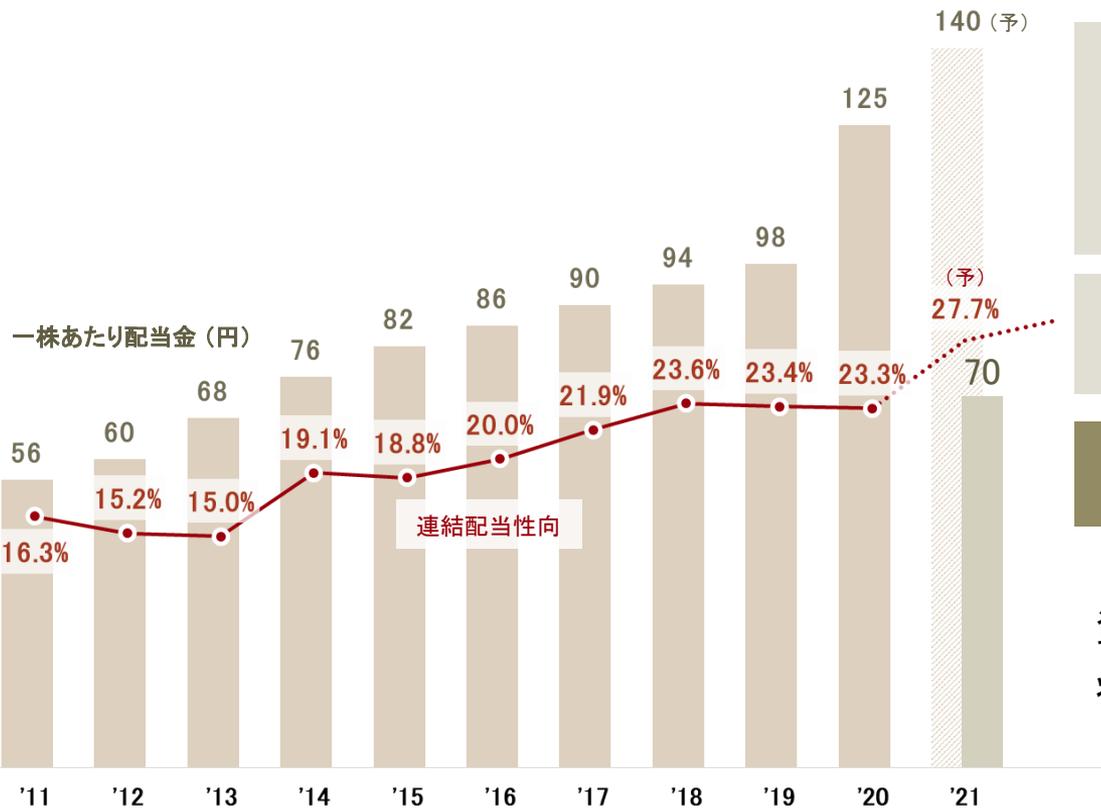
(販売) 50億円～

ECO ONE販売促進(日本)
省エネ給湯機器の普及促進(グローバル)

5年累計500億円以上の投資を念頭

カーボンニュートラルに向けて積極的な投資により開発・製造・販売でのイノベーションを加速

株主還元の方針



配当	2021年度 第2四半期末 70円 中間12期連続増配
	2021年度 期末予想 140円 期末20期連続増配予定
自社株 買い	2021年8月19日 取得 174億円 (160万株)
還元 方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総還元性向 40% (2021~2025年平均) ・ 継続的な配当性向の引き上げ

資本政策に基づき、
将来に向けた成長投資と還元拡大を実行

本資料に掲載されております業績予想や将来予想は、現時点において入手可能な情報に基づき当社が判断して予想したものであり、実際の業績は今後様々な要因の変化により予想とは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。